

2023年3月29日

株式会社 四国銀行

## サイバーセキュリティ高度化に向けた連携組織「CMS - CSIRT」の設立について ～地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ (CMS-WG) の取組み～

株式会社四国銀行（頭取 山元文明）は、地銀共同センター<sup>※1</sup> 参加行とともに、MEJAR<sup>※2</sup> 参加行と2021年11月に立ち上げたシステム・ワーキンググループ（以下、CMS-WG<sup>※3</sup>）での取組みの一環として、サイバーセキュリティ分野での連携組織「CMS - CSIRT<sup>※4</sup>」を共同で設立しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

昨今、金融業界を取り巻くサイバー犯罪、サイバー攻撃等の脅威は増しており、多くの地域金融機関はさらなるセキュリティ強化の必要性を認識しております。今回、地銀共同センター参加行とMEJAR参加行が協力し、サイバーセキュリティ態勢を一層強化するため、本組織を立ち上げることになりました。

本組織は、定例会等による交流を通じて参加行のセキュリティ部門の関係構築を図るとともに、共同でのセキュリティ対応訓練や演習、将来的な参加行の共同でのセキュリティ対策実現を目指した調査や検討なども実施してまいります。

当行では、今後も地銀共同センターおよびMEJARの参加行との共同検討を通じ、強靱なシステム基盤を構築するとともに、お客さまの利便性のさらなる向上に努めてまいります。

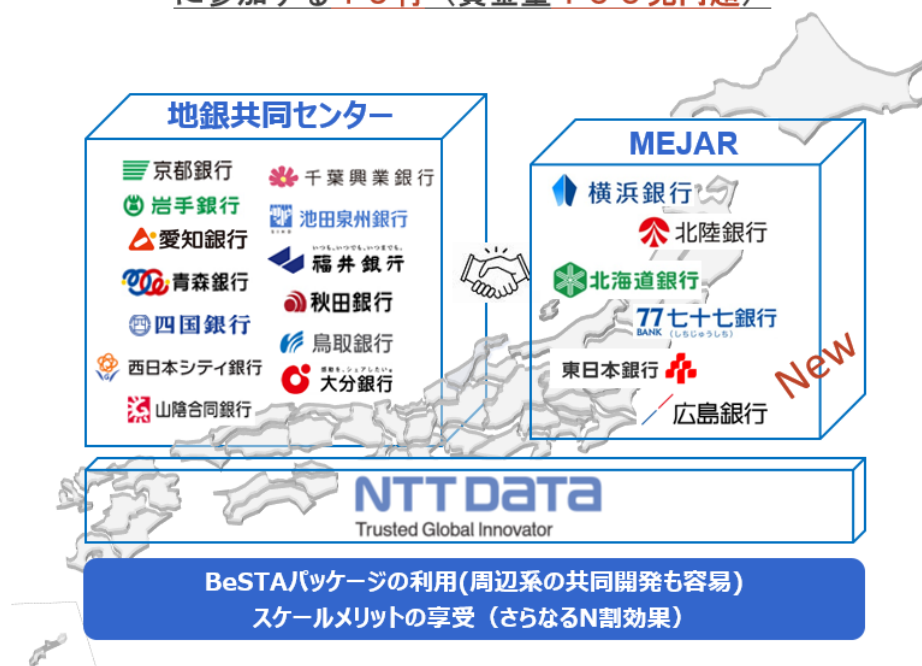
### 記

#### ■ CMS - CSIRT の概要

活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・セキュリティ部門の交流促進</li><li>・参加者間の情報共有促進</li><li>・勉強会の開催</li><li>・共同でのセキュリティ対応訓練や演習</li><li>・共同でのセキュリティ対策実現を目指した調査・検討 など</li></ul>
メンバー	<ul style="list-style-type: none"><li>・地銀共同センター 全13行</li><li>・MEJAR 全6行</li><li>・株式会社 NTT データ</li></ul>

## ■ CMS-WGについて

「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ」  
に参加する19行（資金量100兆円超）



- ※1 地銀共同センター…NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）  
京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、愛知銀行、福井銀行、青森銀行、秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行
- ※2 MEJAR…NTTデータが構築し、銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）  
横浜銀行、北海道銀行、北陸銀行、七十七銀行、東日本銀行、広島銀行（2030年度より共同利用予定）
- ※3 CMS-WG…地銀共同センターおよびMEJARが共同化グループの枠組みを越えたシステム運用の効率化を検討するため、2021年11月に設立したワーキンググループ
- ※4 CSIRT(Computer Security Incident Response Team)は、一般的にセキュリティインシデント発生時の対応をおこなうチームと説明されますが、CMS-CSIRTでは平時においてインシデントに備えるための、情報共有や担当者のスキル向上、セキュリティ対策の導入を活動内容としております。

以上